

音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング

近年、障害者芸術に関する法整備が進むなど、アートが持つ包摂性に着目した活動への関心や需要が高まっています。その一方で、多くの実践現場では「社会包摂につながるアート活動」にどのように向き合うべきなのか、どのようにしたらより質の高い内容が実施できるのか、今なお模索しています。

そこで、東京文化会館では音楽やダンスなどのパフォーマンスに焦点をあてながら「社会包摂につながるアート活動」を実践する上で、理解しておきたい事柄を整理するためのレクチャーやスキルアップ・トレーニングを実施いたします。

このトレーニング・シリーズでは、**音楽と場の「即興性」と「身体性」**に着目します。より質の高い社会包摂的なアート活動の展開を目指し、先駆的实践を行うアーティストから知識、ノウハウ、様々な事例、そして実践に基づいた理論を学びます。

対 象

社会包摂につながるアート活動に関心のある音楽家、ワークショップ・リーダー、オーケストラ楽団員、音大生、アーティストなど

定員・料金

毎回20名程度[9月27日(金)申込開始] 受講無料

講 師

第1～4回 鈴木 潤 (鍵盤プレイヤー、作曲家)
第5回 新井 英夫 (体奏家、ダンス・アーティスト)

会 場

第1～4回 東京文化会館 リハーサル室
第5回 東京芸術劇場 シンフォニースペース

お申込み

Peatix申込ページ<<http://tbk19training.peatix.com>>より詳細をご確認のうえ、お申込みください。



<p>第1回 令和元年 10/24(木) 18:00-21:00</p>	<p>皆が主役になれる即興的音楽ワークショップをはじめよう ～「音の砂場」の事例から</p> <p>砂場で遊ぶように、誰もが自由で、誰もが自分の世界をもてる不思議な音楽ワークショップを体験しませんか。その場に居る人が「主役」になれる音楽ワークショップの場を考えます。</p>
<p>第2回 令和元年 11/21(木) 18:00-21:00</p>	<p>即興音楽づくりのためのトレーニング#1：ドレミを使わない音遊び</p> <p>ドレミの概念をそと横に置いてみたら、より自由にクリエイティブな音楽が生まれるかもしれません。色々な音を使った「遊び」から音色、リズム、グルーブ(リズムの揺れ)、テクスチャーなどの音楽的エッセンスの重要性、記号化できない音楽の側面を一緒に発見しましょう。</p>
<p>第3回 令和元年 11/28(木) 18:00-21:00</p>	<p>即興音楽づくりのためのトレーニング#2：ピアノも打楽器!? コード進行の基本</p> <p>ピアノを打楽器としてとらえてみると、難しいと思っていたコード進行もハーモニーづくりもあつという間にマスターできます。あの名曲も実はシンプルな3和音コード進行でできているのです。</p>
<p>第4回 令和元年 11/29(金) 18:00-21:00</p>	<p>即興音楽づくりのためのトレーニング#3：リズムと4和音の不思議</p> <p>音楽のなかにある身体的な感覚を呼び覚ませ！レゲエ、サルサ、ブラジル音楽などは簡単なコードとリズムパターンの繰り返しで演奏することもできます。コードの役割分担に気づき、いろいろなリズムを作ってみましょう。</p>
<p>第5回 令和2年 1/31(金) 18:00-21:00</p>	<p>ほぐす・つながる・つくる： がんばらないダンス≒非言語身体表現の可能性/カラダからのコミュニケーション</p> <p>子供から高齢者まで、また障害のあるなしを越えて、非言語の身体表現を通じて豊かでゆるやかな関係性を再構築するためのキーワードは「ほぐす・つながる・つくる」。各地で大人気のバリアフリーダンス・ワークショップのエッセンスを学びます。</p>

- 講師プロフィールは東京文化会館HPに掲載しております。●トレーニングは1回ずつのご参加も可能です。
- 記録のための撮影を行います。撮影した写真・動画は東京文化会館の報告書や広報物、SNS等で使用されます。予めご了承ください。
- やむを得ない事情により内容等を変更又は中止にする場合がございますので、予めご了承ください。

お問合せ ● 東京文化会館 事業係 ☎ 03-3828-2111(代表) t-bunka.jp tbunka_official

主 催： 東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
助 成： 一般財団法人地域創造



文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化でつながる。未来とつながる。

